

■コメント

1. 手足口病

定点当たり2.96人とやや増加しており、2月以降増加を続けています。この時期に定点当たり2人を上回るのは異例で注意が必要です。

2. 流行性耳下腺炎

定点当たり2.67人とやや増加し、多い状態が続いています。

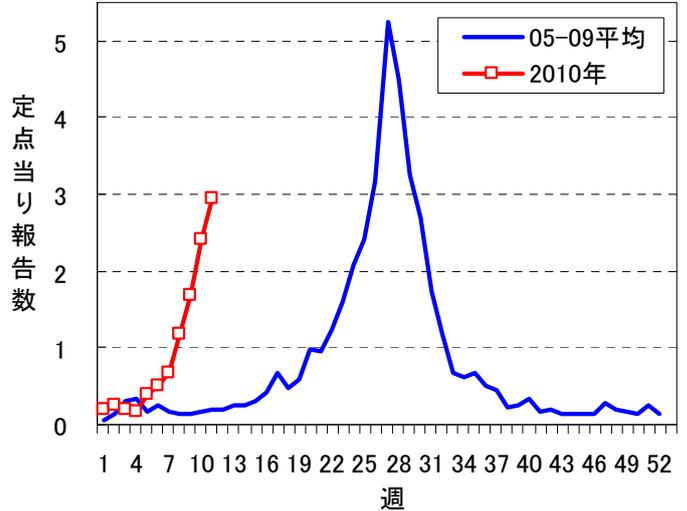
3. インフルエンザ

定点当たり0.84人とやや減少しています。報告数は少なくなりましたが、まだインフルエンザは完全には終息していません。引き続き手洗い・うがいや混み合った場所でのマスクの着用など感染予防対策にこころがけてください。

4. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は6件(エイズ患者1件、HIV感染者5件)となりました(3月21日現在)。今年も昨年に引き続き多い状態が続いています。

手足口病



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過均去5年(注)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過均去5年(注)間	発生記号
インフルエンザ	31	0.84	12.42	◇	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.01	
咽頭結膜熱	6	0.25	0.24		流行性耳下腺炎	64	2.67	0.58	◇
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.54	2.07		RSウイルス感染症	-	-	0.13	
感染性胃腸炎	228	9.50	12.82	◇	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	26	1.08	1.96	◇	流行性角結膜炎	7	0.88	0.90	
手足口病	71	2.96	0.20	◇	細菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
伝染性紅斑	2	0.08	0.20		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発しん	12	0.50	0.56		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.23	
百日咳	1	0.04	0.13		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	1	54	男性(40歳代)・1人
3	細菌性赤痢	1	1	女性(40歳代)・推定感染地域: 国外
3	パラチフス	1	1	女性(60歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	6	男性(20歳代)・感染者

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第7週 第8週 第9週 第10週 第11週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
			27	4	19	401	32	16	3	13	11	1	56	9	1	8	-	-	-	-
定点当り	広島市	第7週	0.73	0.17	0.79	16.71	1.33	0.67	0.13	0.54	0.46	0.04	2.33	0.38	0.13	1.00	-	-	-	-
		第8週	1.22	0.17	0.83	14.71	1.25	1.17	0.13	0.29	0.50	-	2.33	0.42	0.50	0.75	-	-	0.29	-
		第9週	1.38	0.42	0.96	15.88	1.21	1.67	-	0.71	0.08	-	2.83	0.25	-	1.13	-	-	-	-
		第10週	1.11	0.25	0.58	13.46	0.71	2.42	0.29	0.54	0.21	-	2.38	0.21	0.13	1.13	-	-	0.29	-
		第11週	0.84	0.25	0.54	9.50	1.08	2.96	0.08	0.50	0.04	0.04	2.67	-	-	0.88	0.14	-	0.43	-
全国	第9週	0.77	0.18	1.76	11.48	1.67	0.29	0.12	0.54	0.02	0.05	1.09	1.00	0.02	0.54	0.01	0.02	0.37	0.02	
	第10週	0.51	0.18	1.77	10.73	1.69	0.37	0.16	0.52	0.03	0.05	1.15	0.78	0.04	0.46	0.01	0.04	0.37	0.02	

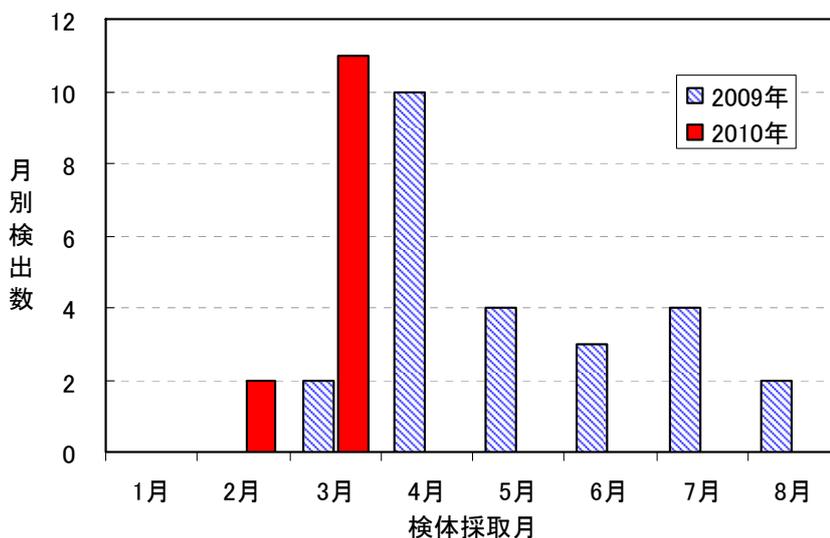
## ■新たに判明した病原体検出状況

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	1	女	2010/02/10	鼻汁(拭い液)	RSウイルス
インフルエンザ	9	男	2010/03/14	咽頭拭い液	インフルエンザB型
インフルエンザ	9	女	2010/03/16	咽頭拭い液	インフルエンザB型
感染性胃腸炎	1	男	2010/02/05	糞便	ノロウイルスG2群

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】広島市におけるヒトメタニューモウイルスの月別検出数

(2010年3月21日現在の速報値)



2月の下旬以降、呼吸器系疾患の患者からヒトメタニューモウイルスが検出されていますが、特に3月に入ってから急増しています。

今年検出された13人のうち、9人は2歳以下の乳幼児です。

ヒトメタニューモウイルスは、2001年にオランダで急性呼吸器感染症の原因ウイルスとして発見されました。乳幼児に気管支炎や肺炎などの呼吸器症状を引き起こし、その症状はRSウイルス感染症と似ているといわれています。

年間を通して検出されますが、主に3月から5月ごろの春季を中心に流行する傾向にありますので、今後注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/shakai/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第11週(3月15~3月21日)